

# 小児科学

ナンバリング M3-S1-D09

責任者・コーディネーター	小児科学講座 赤坂 真奈美 教授		
担当講座・学科（分野）	小児科学講座		
担当教員	赤坂 真奈美 教授、石川 健 特任教授、外館 玄一朗 特任准教授、鳥谷 由貴子 講師、中野 智 講師、三浦 翔子 講師、田金 星都 助教、小野寺 千夏 助教、八鍬 瑛子 助教、松本 敦 助教、吉田 太郎 助教(任期付)、和田 泰格 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 14コマ 28.0時間
期間	後期		演習 0コマ 0.0時間 実習 0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

小児科学は、成長と発達の過程にある小児を対象として、その身体と心の問題を扱うものです。従って、その領域はきわめて広く、胎児期、新生児期から思春期までのすべての医学領域の知識が求められます。学生は40分以上の事前学習と、60分以上の事後学習をすることで講義内容の定着を図り、臨床実習に備えます。

## ・教育成果（アウトカム）

学生は、自主学習と各専門医から講義を受けることで、胎児期から思春期にわたる様々な疾患について、概念と病歴、身体診察所見、検査所見の評価および診断過程、問題解決へのアプローチ、重症度の評価、治療法、起こりうる合併症を自ら考え述べるができるようになります。学生は、社会における日本の小児医療の特徴と問題点を述べるができるようになります。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 )

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	新生児疾患の要点を説明できる。
2	血液・免疫・感染症・腫瘍について鑑別し要点を説明できる。
3	成長や発達について説明できる。
4	先天性心疾患の心雑音や病態について説明ができる。
5	小児に多い先天性消化器疾患について説明できる。
6	腎・泌尿器疾患について説明できる。
7	小児のバイタルサインや救急疾患について説明できる。
8	神経発達症や神経筋疾患について説明できる。
9	小児の虐待について種類やその対応を説明できる。
10	染色体や遺伝子異常について理解し説明できる。
11	低身長や内分泌疾患を理解し説明できる。
12	アレルギー反応の分類ができる。
13	不整脈を理解し説明できる。
14	小児のてんかんについて分類し特徴を説明できる。
15	小児の消化器疾患の特徴を理解し説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-C講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	10/23(金)	1	小児科学講座	石川 健 特任教授	小児の診察法 ・ 系統的診察 ・ バイタルサイン ・ 成長発達総論 ・ 救急疾患	7	【事前学修】 重症例を見逃さなさいためのPediatric Assessment Triangleについて事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 講義の内容や資料を参考に小児のバイタルサインや重症例を見逃さないシステムについて復習しA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	10/30(金)	1	小児科学講座	鳥谷 由貴子 講師	新生児疾患 ・ 染色体異常 ・ 単一遺伝子病 ・ 片親性ダイソミー ・ 奇形症候群	1,3,10	【事前学修】 主な先天異常の原因について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 講義の内容や資料を参考に先天異常の原因を復習しA4版数枚程度にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/6(金)	1	小児科学講座	三浦 翔子 講師	アレルギー・免疫疾患・膠原病 ・ アレルギー反応の分類と疾患 ・ 生体防御 ・ 免疫の発達 ・ 膠原病の鑑別	2,12	【事前学修】 アレルギー反応の分類について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児の主なアレルギー疾患や免疫反応の診断と治療について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/6(金)	2	小児科学講座	中野 智 講師	循環器疾患 ・ 先天性心疾患 ・ 不整脈 ・ 管理	4,13	【事前学修】 小児の心電図・小児の適切な血圧・脈拍などバイタルサインについて事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 講義を参考に小児の心電図や血圧などをA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass

講義	11/13(金)	2	小児科学講座	中野 智 講師	循環器疾患 ・酸素飽和度異常 ・心雑音	1,4	【事前学修】 小児の循環器疾患の症状について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 チアノーゼ性心疾患の治療や心雑音について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/19(木)	3	小児科学講座	田金 星都 助教	消化器疾患 ・嘔吐、血便 ・発熱、腹痛	5	【事前学修】 小児の消化器疾患の症状と検査について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児の主な消化器疾患の治療について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/20(金)	1	小児科学講座	吉田 太郎 助教 (任期付)	血液・腫瘍性疾患 ・倦怠感 ・腰痛、疲労感 ・白血病、貧血、出血	2,7	【事前学修】 小児の血液・腫瘍疾患の症状について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児の貧血の鑑別診断や小児の白血病の治療について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/27(金)	1	小児科学講座	小野寺 千夏 助教	腎疾患 ・発熱、浮腫 ・浮腫 ・ネフローゼ症候群、腎炎 ・先天奇形	6,7	【事前学修】 小児の腎疾患の症状と検査について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児のネフローゼ症候群や腎疾患の治療について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	11/27(金)	2	小児科学講座	八鍬 瑛子 助教	精神・心身医学的疾患 ・発達と反射 ・神経発達症 ・てんかんと救急対応	3,8,14	【事前学修】 小児の精神・心身医学的疾患の症状について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児の精神・心身医学やてんかんについて講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass

講義	12/2(水)	3	小児科学講座	和田 泰格 非常勤講師	内分泌・代謝疾患 ・低身長・意識障害 ・マスクリーニングの異常 ・性分化疾患	1,3,7,11	【事前学修】 新生児マスクリーニングについて事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児の主な内分泌・代謝疾患の治療について講義の内容を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	12/8(火)	2	小児科学講座	外館 玄一朗 特任准教授	感染症1 ・発熱、嘔声、咳嗽 ・頸部腫瘍、咽頭痛	2,7	【事前学修】 小児の感染症の特徴について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児に特有の感染症や兆候について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	12/9(水)	1	小児科学講座	外館 玄一朗 特任准教授	感染症2 ・真菌、マイコプラズマなど下気道・肺炎 ・感染対策 ・予防接種	2,7	【事前学修】 小児の肺炎の特徴や予防接種について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 小児に特有の肺炎や予防接種について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	12/15(火)	1	小児科学講座	松本 敦 助教	新生児 ・成熟度 ・呼吸の特徴 ・低体重児 ・蘇生法	1,3,7	【事前学修】 早産児・LFD (SFD) 児の分類や病態生理的な特徴、新生児の呼吸循環障害、黄疸の原因について事前資料を予習する。所要時間 40分以上 【事後学修】 講義の内容や資料を参考に早産児・LFD (SFD) 児の急性期合併症、遠隔期の問題を復習しA4版数枚程度にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass

講義	12/16(水)	1	小児科学講座	赤坂 真奈美 教授	神経筋疾患 ・総論と各論 ・虐待	3,7,8,9	【事前学修】 小児の神経筋疾患の事前資料を読み鑑別診断および診断のプロセスを考えてから講義に臨むこと。所要時間40分以上 【事後学修】 小児の神経・筋疾患や救急疾患について講義を参考にA4版数枚にまとめて保存しておくこと。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
----	----------	---	--------	-----------	------------------------	---------	--

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	標準小児科学 9版	原 寿郎 監修	医学書院	2022
推薦図書	Nelson Textbook of Pediatrics, 21th ed.	Kliegman RM, et al.	Elsevier	2020
参考書	Case Files小児科	大石公彦総監訳	診断と治療社	2022

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。再試の学生には試験に加えてレポートを課す場合がある。

【形成的評価】

講義において、担当者は講義の最後に小テストを実施し講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。  
 実習中の口頭試問および毎時間の実習内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～15	1～8				100			100
合計					100			100

・特記事項・その他

診察法	1回	小児の診察法、小児期の呼吸数、脈拍数、血圧の基準値
新生児疾患	1回	新生児の分類・生理・蘇生法・管理法、成熟度評価法、呼吸窮迫の鑑別、低出生体重児、マイクロバブルテスト
先天異常	1回	単一遺伝子病の種類と特徴、染色体異常症、片親性ダイソミー、奇形症候群、light-for-dates児の分類と合併症
内分泌・代謝疾患	1回	低身長、内分泌疾患の症候と鑑別、意識障害の鑑別、マスキング、先天代謝異常症の症候と鑑別、性分化・成熟異常
アレルギー・免疫疾患	1回	生体防御機構、免疫系の発達分化、免疫学的検査、免疫疾患、アレルギー反応の分類、アレルギー疾患の診断と治療
膠原病等	1回	膠原病と類縁疾患の診断と治療
感染症	1回	発疹性疾患の鑑別と合併症、感染性疾患、予防接種、学校伝染病、リンパ
循環器疾患	1回	節腫脹、呼吸器疾患、呼吸困難の鑑別、酸素・人工換気の適応 動脈管依存性心疾患の分類と鑑別、心疾患の症候と鑑別、心不全の診断・治療、小児心電図の判読、不整脈
消化器疾患	1回	消化器疾患の症候と鑑別、緊急の診断・治療が必要な消化器疾患
血液・腫瘍性疾患	1回	血液疾患の症候と鑑別、貧血の鑑別、白血病・腫瘍性疾患の診断・治療
腎疾患	1回	腎機能検査、腎疾患の症候と鑑別
神経・筋疾患	1回	母子感染、年齢による細菌感染症の特徴、神経疾患の症候と鑑別
精神・心身医学的疾患	1回	小児の成長・発達・反射の評価と健診の月齢別重点項目、言語発達遅滞の
救急疾患	1回	鑑別、心身症、神経発達症、てんかん、けいれんの救急対応 小児の救急疾患、特に誤嚥、誤飲、薬物中毒、溺水、熱傷、熱中症、虐待の発生状況と治療方針、予防

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低40分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebClassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有  
大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書、講義室、PC、シュミレータ

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	症例・スライド作成
講義	タブレット兼ノートパソコン Surface Go 一式	1	講義にて使用
講義	デスクトップパソコン 一式	1	講義にて使用